

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究(Graduation Thesis)		授業コード	C109935
担当教員名	足立 元		科目ナンバリングコード	
配当学年	4	開講期	通年	
必修・選択区分	必修	単位数	6	
履修上の注意または履修条件	卒業研究の専門領域の担当教員クラスを履修すること。			
受講心得	受け身の姿勢にならず、積極的な姿勢で授業に臨んでください。			
教科書	必要に応じて資料を配付します。			
参考文献及び指定図書				
関連科目	それぞれの専門領域に関連する全科目、研究ゼミナール			

授業の目的	学生がもっとも興味を抱く専門領域の研究室に所属し、担当教員の指導や助言を受けながら、特定の研究テーマに沿った研究活動を行います。具体的には、①研究テーマの設定、②予備調査(文献検索、調査、資料収集など)、③研究(設計、実験、解析、開発、制作など)、といった段階を踏みながら卒業研究を進めていきます。原則として、情報メディア技術コースでは情報機器・システムの開発を、情報メディア表現コースではデジタル・コンテンツの制作を行うこととなります。研究内容は卒業論文・卒業制作としてまとめ、学科の研究発表会にて発表を行い、教員による審査を受けます。
授業の概要	この科目は各専門領域の教員が開講することで、卒業研究を行う上で必要となる専門領域に関する高度な研究を行うことをめざします。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1,2週: 研究計画作成	研究計画書
第3,4週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第5,6週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第7,8週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第9,10週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第11,12週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第13,14週:	

調査・研究・制作等	作品、レポート等
第15,16週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第17,18週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第19,20週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第21,22週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第23,24週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第25,26週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第27,28週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
第29,30週: 調査・研究・制作等	作品、レポート等
卒業研究発表会 卒業研究発表会	作品、論文、発表資料
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング
地域志向科目	該当しない
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	各自のテーマに対して深く理解し、自ら意欲的に研究を行う。
【知識・理解】	専門的な知識をもとに研究テーマに関する理解を深める。
【技能・表現・コミュニケーション】	研究テーマに関する専門的な技能と表現力を高める。
【思考・判断・創造】	専門的な知識・技能・表現力をもとに、独自性のある視点から研究を深める。

○成績評価基準(合計100点)	合計欄	90点
-----------------	-----	-----

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			20点
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	5点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>			

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	